

2026年

授業科目	倫理学	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 倫理学の基本的な考え方が理解できる。					
2. 生命倫理について学び、倫理的課題が考えられる。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	序章 なぜ倫理を学ぶのか 第1章 倫理学の基本的な考え方 1. 倫理とはなにか 2. 倫理理論 3. 他者理解と対話のための理論				講 義
2	第2章 生命倫理 1. 生命倫理とはなにか 2. 生命倫理の理論 3. 生命倫理と看護職の責務 (インフォームドコンセント、守秘義務と個人情報保護)				講 義
3	第3章 性と生殖の生命倫理 1. 性の生命倫理 2. 生殖の生命倫理 3. 生殖に対する医療的介入の課題				講 義
4					
5	第4章 死の生命倫理 1. 死について 2. 死と医療 3. 死についての生命倫理の課題				講 義
6					
7	第5章 先端医療と制度をめぐる生命倫理 1. 移植医療と生命倫理の課題 2. 再生医療と生命倫理の課題 3. 遺伝子医療と生命倫理の課題				講 義
8	終了試験				
【 使用テキスト 】 ・別巻 看護倫理 医学書院				【 参考文献・紹介文献 】 授業の中で紹介する	
【 評価方法 】 ・筆記試験					

2026年

授業科目	生物学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 生物学の基礎を理解する。					
2. 生命体の構造と機能、生命維持のしくみ、原始的な生物、細胞の増殖、生殖と発生、遺伝情報の伝達と発現、生命の進化、及び環境に対する生命の反応と調節機能等を詳しく学ぶ。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	単位、生命体の大きさ、顕微鏡、細胞膜、小胞体				講義
2	小胞体、リボソーム、ゴルジ体、微小管				講義
3	微小管 Microfilament、ミトコンドリア				講義
4	ミトコンドリア、動物細胞の被膜 細胞の化学成分 水、無機質				講義
5	膜透過、Membrane flow				講義
6	原核細胞、ウイルス				講義
7	ウイロイド、バクテリオファージ、生体内の化学反応の特徴、炭素同化				講義
8	炭素同化、窒素同化、異化作用、体細胞分裂				講義
9	体細胞分裂、減数分裂、生殖				講義
10	精子形成、卵子形成、受精				講義
11	受精、核酸の構造、DNAは遺伝物質である、DNAの構造				講義
12	DNA の複製、Okazaki fragment の合成、DNA 変異の修復合成、転写				講義
13	転写 RNA splicing、翻訳、生物の系統				講義
14	生物の系統、ヒトの特徴、水 塩分環境の変化に対する対応、恒常性の維持				講義
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【 参考文献・紹介文献 】	
・系統看護学講座 基礎分野 生物学 医学書院				講師が作成した資料を配布する。	
【 評価方法 】					
・筆記試験					

2026年

授業科目	化学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 生体を構成する化学物質と化学反応について理解する。 2. 日常生活に関連する化合物の性質や反応機構を理解し、生活現象を科学的に分析できる。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	講義内容の紹介・化学とは・化学は暗記もの？				講義
2	原子の構造 原子はどれくらい小さいの？原子をみることができるの？				講義
3	周期律と電子配置・周期律の発見者は誰？・元素の発見物語				講義
4	周期表を見てみよう・元素(原子)の分類法				講義
5	原子量・分子量って何？モルはなぜ必要？・化学式の話・濃度の話				講義
6	化学結合(イオン結合・共有結合・配位結合)				講義
7	酸とアルカリ(pHとは、なぜpOHはないの？) 酸性食品とアルカリ性食品				講義
8	物質の三態(気体・液体・個体)・液体と溶液の違い・気体の法則				講義
9	酸化と還元・電池って何？・電気ので物質を取り出す				講義
10	化学平衡・溶解度・個体に気体が溶ける？				講義
11	有機化学入門① 化学式構造式の書き方・命名法のルール				講義
12	有機化学入門② 化合物の構造・異性体・光学活性体				講義
13	看護に重要な無機化合物と有機化合物の話				講義
14	ありふれた化合物と奇妙な化合物の話				講義
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
・系統看護学講座 基礎分野 化学 医学書院					
【 評価方法 】					
・筆記試験					

2026年

授業科目	論理的思考	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】 1. 正しく日本語を用いて論理的に思考することができる。 2. 上記のスキルを働く現場に活かして円滑なコミュニケーションをはかることができる。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	
1	1. ガイダンス(授業オリエンテーションを含む) 2. 挨拶をする、自己紹介をする(ソーシャルスキル編 第1章)			講義	
2	1. 正しい日本語を使う(スタディスキル編 第1章) 2. 敬語を使う(スタディスキル編 第2章)			講義	
3	1. 話すスキルと聴くスキル(ソーシャルスキル編 第2章) 2. メモをとる(スタディスキル編 第3章)			講義	
4	1. 上手に断る(ソーシャルスキル編 第3章) 2. 説明する・発表する(スタディスキル編 第4章)			講義	
5	1. 電話をする(スタディスキル編 第5章) 2. 感情をコントロールするスキル(ソーシャルスキル編 第4章)			講義	
6	1. メールを書く(スタディスキル編 第6章) 2. 手紙を書く(スタディスキル編 第7章)			講義	
7	1. レポートを書く(1):内容編(スタディスキル編 第8章)			講義	
	2. レポートを書く(2):表現編(スタディスキル編 第9章)				
8	終了試験				
【 使用テキスト 】 ・なし				【参考文献・紹介文献】	
【 評価方法 】 ・毎回の授業でのレポート(45点)、筆記試験(55点)の合計点(100点)による。					

2026年

授業科目	討議法	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 討議法(カンファレンス)の必要性を理解する。					
2. 討議法(カンファレンス)に必要なスキルを知り、使えるようになる。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション			講義・ビデオ視聴	
2	看護におけるカンファレンス			講義・演習	
3	カンファレンスの基本要素①			講義	
4	カンファレンスの基本要素②			講義	
5	カンファレンスの基本要素③			講義	
6	カンファレンスの運営①			講義・演習	
7	カンファレンスの運営②			講義・演習	
8	カンファレンスの運営③			講義・演習	
9	学生のためのカンファレンスの要点			講義	
10	学生のためのカンファレンスの要点 カンファレンス演習 オリエンテーション			講義	
11	カンファレンス演習 1			演習	
12	カンファレンス演習 2			演習	
13	カンファレンス演習 3			演習	
14	カンファレンス演習 4			演習	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【 参考文献・紹介文献 】	
・看護カンファレンス 第3版 医学書院					
【 評価方法 】					
・筆記試験					

2026年

授業科目	国文学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】 1. 多くの作品を読むことにより、読解力を高め、作品を味わうことができる。 2. 文学作品に登場する人物の心理を読み解き、人間理解を深める。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション				講 義
2	正岡子規『病牀六尺』～精神的介抱と形式的介抱について考える～				講 義
3	夏目漱石『思い出す事など』～病と看護について考える～①				講 義
4	夏目漱石『思い出す事など』～病と看護について考える～②				講 義
5	夏目漱石『思い出す事など』～病と看護について考える～③				講 義
6	石川啄木～病室での看護について考える～				講 義
7	斎藤茂吉『死にたまふ母』～看取り・見送りについて考える～				講 義
8	終了試験				
【 使用テキスト 】 ・米沢慧(2018)『看護師のための明治文学 漱石の時代の介抱・看病・看護 (看護師のしごととくらしを豊かにする 6)』日本医療企画				【参考文献・紹介文献】	
【 評価方法 】 ・授業時の課題(50点)、筆記試験(50点)					

2026年

授業科目	英語 I (英会話)	時期	第1学年 第1・2学期	単位数 (時間数)	2単位 45時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【科目目標】					
1. 医療英語を覚える。					
2. ナースと患者の医療現場での英語による会話を疑似体験する。					
【内容】					
回数	授業内容				授業方法
1	Unit 1 受付 外来診療手続き Unit 2 初診				演習
2					
3					
4	Unit 3 病状聴取 Unit 4 院内案内				演習
5					
6					
7	Unit 6 入院聴取 Unit 7 怪我と痛みの聴取				演習
8					
9					
10	Unit 8 血液採取 Unit 9 再診予約				演習
11					
12					
13	Unit 10 服薬説明 Unit 11 術前術後説明				演習
14					
15					
16	Unit 12 日常看護 Unit 11 救命救急				演習
17					
18					
19	Unit 14 各種検査 Unit 15 退院説明				演習
20					
21					
22	終了試験 ペアによる会話暗唱				
23					
【使用テキスト】				【参考文献・紹介文献】	
クリスティーンのレベルアップ看護英会話 医学書院					
【評価方法】					
・単語テスト 30点					
・各Unitまとめテスト 20点					
・期末テスト 50点					

2026年

授業科目	英語II(文献読解)	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】 1. 1年生で学習した医療英語を多用している英文を読み込む。 2. 今日の個人、地球規模の健康問題に触れる。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	Sense of Taste and Eating Habits 購読				演習
2	Dangers of Internet Addiction 購読				演習
3	Global Water Problem購読				演習
4	Global Cooperation to Prevent Dementia 購読				演習
5	Need for Disaster Medicine: DMAT and JMAT 購読				演習
6	Ethical Implications of Prenatal Testing 購読				演習
7	Preventing Child Abuse 購読				演習
8	終了試験				
【 使用テキスト 】 毎回プリントを配布します。				【参考文献・紹介文献】	
【 評価方法 】 各トピック終了の次の週に復習テストを実施。 すべての復習テストの平均点で評価します。					

2026年

授業科目	発達心理学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 発達の共通した仕組みと発達段階の特徴を理解する。					
2. 発達の基本的な理論とさまざまな要因を理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	発達とは1(発達の定義)				講 義
2	発達とは2(発達の理論)				講 義
3	エリクソンの理論(自我の発達)				講 義
4	ピアジェの理論(認知発達)				講 義
5	ボウルヴィの理論(愛着の発達)				講 義
6	ヴィゴツキーの理論(発達の最近接領域)				講 義
7	生涯発達の変容プロセス				講 義
8	自己の発達				講 義
9	言語とコミュニケーションの発達				講 義
10	対人関係の発達				講 義
11	知的発達と認知機能の発達				講 義
12	発達障害				講 義
13	発達心理学に関わる現代的課題				講 義
14	発達の評価				講 義
15	終了試験				筆記試験
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
・公認心理師カリキュラム準拠 発達心理学 医歯薬出版				必要に応じて授業内で紹介	
【 評価方法 】					
・筆記試験					

2026年

授業科目	生活科学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 人間の生活基盤である住居と被服を科学的にとらえ、これらが人間の健康に及ぼす影響について理解する。					
2. 住居や被服に伴う現代的課題を明らかにし、自分の生活を通してそれらの問題への対応を考える。					
3. 生活を科学的な見方で自分の生活を再検討できる。					
回数	授業内容			授業方法	
1	生活科学とは何か 関連領域 グループワークウォーミングアップ			講義・演習	
2	人間と家族 人間発達の捉え方 現代・世界の家族			講義・演習	
3	暮らしと技術 ユニバーサルデザインと技術			講義・演習	
4	暮らしと環境 自然災害と暮らし			講義・演習	
5	暮らしと様式 衣生活の変遷			講義・演習	
6	暮らしと様式 みたこともない服のデザイン アイデアの検討			講義・演習	
7	暮らしと様式 みたこともない服のデザイン 作成作業			講義・演習	
8	暮らしと様式 みたこともない服のデザイン 服の完成・発表準備			講義・演習	
9	暮らしと様式 みたこともない服のデザイン 服の完成・発表			講義・演習	
10	暮らしの技術 ユニバーサルデザインと技術			講義・演習	
11	暮らしと生活 消費生活と法律			講義・演習	
12	暮らしと住まい 住宅展示場見学1			講義・演習	
13	暮らしと住まい 住宅展示場見学2			講義・演習	
14	暮らしと住まい 住生活基本計画とセーフティネット			講義・演習	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【 参考文献・紹介文献 】	
・生活科学 第6版 オーム社					
【 評価方法 】					
・グループワーク成果40点 筆記試験60点					

2026年

授業科目	社会学	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
社会情勢の変化や人びとの価値観の多様化、社会システムの変容などを背景に、人びとの健康・生活にさまざまな課題や問題が生じています。現代日本のさまざまな「社会問題」を切り口に、社会のしくみや成り立ちを理解できるようになるための知的基盤づくりにとりくみます。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション——社会学と何か？				講義
2	社会学／社会問題とは何か？				講義
3	「被災する」とはどういうことか？(災害の社会学)				講義
4	「原発避難」とは何か？(原発災害の社会学)				講義
5	なぜ「被災地／者」は差別されるのか？(地方の社会学)				講義
6	メディアは「本当のこと」を伝えているか？(メディアの社会学)				講義
7	人はなぜ「ひきこもり」になってしまうのか？(排除の社会学)				講義
8	日本社会はなぜ「格差・貧困」に陥ったか？(労働の社会学)				講義
9	「ブラック企業」問題はなぜ生じるか？(職場の社会学)				講義
10	「子どもの貧困」は何をもたらすか？(家族の社会学)				講義
11	「ホームレス」は自己責任か？(住まいの社会学)				講義
12	なぜ日本は「自殺」が多いのか？(自死の社会学)				講義
13	「セクシュアル・マイノリティ」とは何か？(ジェンダーの社会学)				講義
14	人びとは社会問題にどう対処しているか？(居場所づくりの社会学)				講義
15	試験＝すべてを通してのふりかえり				
【 使用テキスト 】				【 参考文献・紹介文献 】	
・<場>のちから 多文化ヤマガタ探訪記2020－2023 ※毎回、講義導入時、レポート課題などに使用します。					
【 評価方法 】					
・毎回講義後のふりかえり＋試験 70点 レポート(課題図書を読んでまとめる等) 30点					

2026年

授業科目	人間関係論	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【科目目標】					
1. 人間関係を理解するための基礎となる心理学の概念を学ぶ。					
2. コミュニケーションの概念を理解し、コミュニケーションスキルを習得する。					
3. 看護ケアの提供者は人間関係をどのようにとらえればよいか理解できる。					
【内容】					
回数	授業内容				授業方法
1	第1章 人間関係の中の自己と他者 演習: 出会い キーワード エリクソンの発達課題 自己概念 バイアス				講義・演習
2	第2章 対人関係と役割 第3章 態度と人間関係 キーワード 認知バイアス 援助				講義・演習
3	第4章 集団と個人 第5章 コミュニケーション キーワード 集団の特性 コミュニケーションのチャネル				講義・演習
4	第6章 カウンセリングと心理療法 キーワード 支持的療法 来談者中心療法 精神力動的療法				講義・演習
5	第7章 コーチング 第8章 アサーティブコミュニケーション キーワード コーチングの原理とスキル 自己表現のタイプ アサーティブな自己表現				講義・演習
6	第9章 保健医療チームの人間関係 第10章 患者を支える人間関係 キーワード チーム チームエラー 看護理論における患者・看護師関係				講義・演習
7	第11部 家族を含めた人間関係 第12章 地域をつくる人間関係 キーワード 家族の定義 機能 ソーシャルサポート ピアサポート				講義・演習
8	筆記試験				
【使用テキスト】				【参考文献・紹介文献】	
・系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第4版、医学書院				授業の中で紹介する	
【評価方法】					
・毎回のリフレクションシート 35点					
・筆記試験 65点					
(教科書で学んだことを確認するための試験)					

2026年

授業科目	体育	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.個人的・集団的技能を習得すると共に、ゲームを通してチームワークを育み、チームスポーツの楽しさを実感する。					
2.運動量を確保することによって、体力向上を目指す。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション:授業への諸注意・グルーピング・体ほぐし				実技
2	体ほぐし:ストレッチ体操 ゲーム(様々な運動)				実技
3	バトミントン・卓球 基本技能とルール説明				実技
4	バトミントン・卓球 基本技能(クリアー・ドライブ・スマッシュ)・ダブルスゲーム				実技
5	バトミントン・卓球 基本技能(ドロップ・ヘアピン)・ダブルスゲーム				実技
6	バトミントン・卓球 基本技能・ダブルスゲーム				実技
7	バトミントン・卓球 基本技能・ダブルスゲーム				実技
8	バスケットボール 個人技能の修得(パス・ドリブル)・ゲーム				実技
9	バスケットボール 集団技能の修得(スクエアパス)・ゲーム				実技
10	バスケットボール 個人技能の修得(2対3)・ゲーム				実技
11	バスケットボール 技能の習熟・ゲーム				実技
12	バレーボール 個人技能の修得(アンダー・オーバーパス)・ゲーム				実技
13	バレーボール 個人技能の修得(パス・サーブ)・ゲーム				実技
14	バレーボール 個人技能の修得(パス・スパイク)・ゲーム				実技
15	バレーボール 技能の習熟・ゲーム				実技
【 使用テキスト 】				【 参考文献・紹介文献 】	
【 評価方法 】					
・出席を重視し、意欲・態度・習熟度を総合的に評価する					